

ご安全にニュース

令和3年 夏号

編集・発行 株式会社安全サービスセンター
創刊 1980年(昭和55年)年4回 春、夏、秋、冬

facebook (会社) facebook.com/tsujianzen
facebook (個人) facebook.com/taro.tsuji2
ameba (ブログ) ameblo.jp/anzenya/
ツイッター (ツイッター) twitter.com/tsujianzen

| | | |
|---|---|---|
| ① | 熱中症、脳梗塞の予防 ※ 正しい知識と自己管理、体調管理 | |
| ② | 指差確認の習慣 グーパー運動の成果 | できない会社、実行している会社 ひとりの職長の想いが業界の全国展開に進化!! |
| ③ | 安全衛生のあるべき姿 ※ T&D 社の成功事例、活動図のモデル | |
| ④ | 安全衛生の特別教育 ※ フルハーネス墜落制止器具、石綿取扱作業者(レベル1~3) | |
| ⑤ | カイゼンのしくみ ※ 立場と役割、戦略、戦術、戦闘 | |
| ⑥ | 労働災害(死亡災害)分類 厚生労働省、名北労働基準協会、建設業災害防止協会 | |
| ⑦ | 弘心書 | 健康が一番、安全が第一、ご安全に |

全国安全週間(7月1日~7月7日)

安 全 習 慣

考
え
る
習
慣

話
し
す
る
習
慣

人
の
話
を
聴
く
習
慣

○ 健康がいりは 自己責任
○ 体調管理は 会社責任

熱中症

ご安全にニュース『夏・特集』

予防

- ① 睡眠時間を充分とる（最低5~6時間）
- ② アルコールは、ほどほどに（飲んだ後8~10時間残る）
- ③ 気分が悪くなったら早目に言う
- ④ 水と塩分は早目に飲む
- ⑤ 休憩は1時間に1回とる（夏場基準）
- ⑥ 着替えを用意する
- ⑦ 保険証を用意する（私病対応）
- ⑧ 始業前の血圧を確認する
- ⑨ アルコールチェックを行う（アルコール検知器）

症状の特徴

- ① めまい、吐き気がでる（墜落の危険）
- ② 手や足が固まる、しびれる（転倒の危険）
- ③ 汗が出なくなる（生命の危険）
↓
* 車の場合
ラジエーターのオーバーヒート状態

危険の目安！

温度 + 湿度 = 100 以上

例 38° + 62% = 100 危

* 気象庁発表に
5~10° プラスする

みんなで、つくろう 安心・安全・信頼職場
職長教育、交通災害予防研修、KYリーダー研修
・職場に人の和 無災害の輪・みんなでやろう ほめさがし

ご 安 全 に

対策・処置

- ① 涼しい所で休ませる、身体を冷やす（必ず仲間が一緒にいて様子を見守る）
- ② 病院に連れて行く同行する。（自宅に戻ってからの様子を確かめよ）
- ③ 救急車を呼ぶ（会社、家族に連絡する）

責任。

* 担当者は状況を会社の責任者に報告する

* 発症したら……

* 休憩させたら……

絶対ひとりにはな
意識を見守る!!

健
全
が
第
一

安全協議会の設立・計画・運営の指導
社員研修・安全教育・安全大会の指導
(株)辻安全サービスセンター
代表取締役 社長 辻 太朗
〒490-1402 愛知県弥富市五斗山2-8-1
TEL 0567-52-3755
FAX 0567-52-3757
E-mail:t-anzen@abelia.ocn.ne.jp

作業前の 血圧確認!

突然起きる病気【50才以上に多い】

脳の病気

- ・ 脳溢血
 - ・ 脳梗塞
 - ・ くも膜下出血

心臓の病気

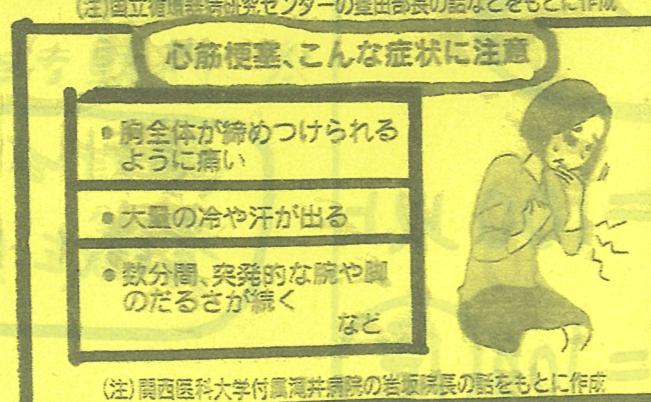
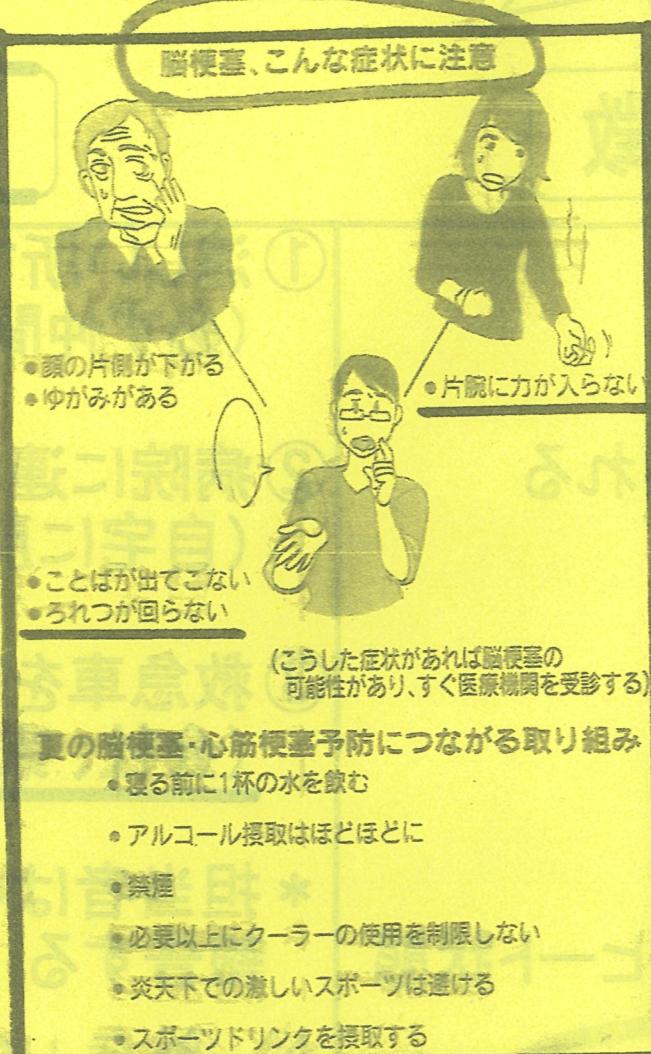
- 心臟麻痺
 - 心筋梗塞
 - 心不全
 - 狹心症

現場で助ける方法 119番

- ① 心臓マッサージを続ける
 - ② AEDを使う、応援者を呼ぶ



いざというときあわて ないで! 助けて下さい!



こうした季節性が起こる原因は次のように説明されてい
る。寒い冬は血管が収縮し血
圧が高まる。この結果、脳血
管が破れやすくなる。一方、

梗塞は夏が最も多くなる」。この話すのは国立循環器病研究センター・脳血管内科の喜田一郎部長だ。2008~11年間に同センターにかかった脳梗塞患者20000人の発症時期を季節別に集計したところ、夏(6~8月)が5200人で、冬(12~2月)の5211人を上回り最も多かった。

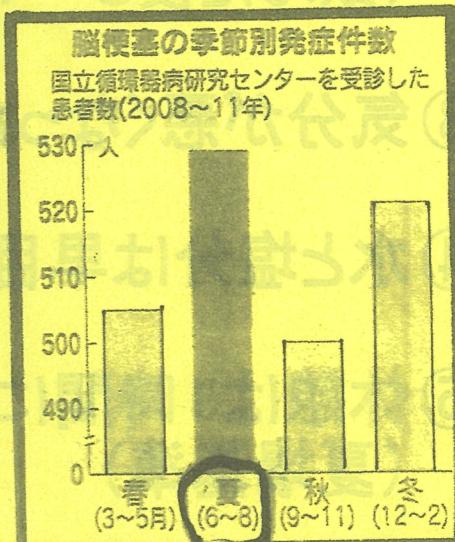
意外と多い 夏の脳梗塞

また暑さで脱水状態になる
と、カリウムやカルシウム、
マグネシウムなど体内の電解
質のバランスが崩れて不整脈
を起こしやすくなる。「血の
流れが乱れると、心臓で血の
塊ができる。脳に運ばれて詰ま
ることもある」と関西医科大
学付鷹清井病院（大阪府守口
市）の岩坂寿二院長は指摘す
る。

気温が上昇するに、人の体はその環境変化に適応しないとする。その過程で神経が興奮状態になり血圧も上がると、暑いと睡眠不足にもなるケースも増えてくる。これがした原因などが影響して、血管が収縮しやすくなるという。動脈が硬化し、血液の塊が血管にこびりついている年高年などは、血管の一部分が詰まってしまい、心筋梗塞が発症するといふ。

この2つの病気は生活習慣の積み重ねで発症するケースが多い。具体的には、高血圧や脂質異常、糖尿病、運動不足などが発症のリスクとして知られている。中高年に多いが、食生活の欧米化などを背景に、若くても発症するケースがある。

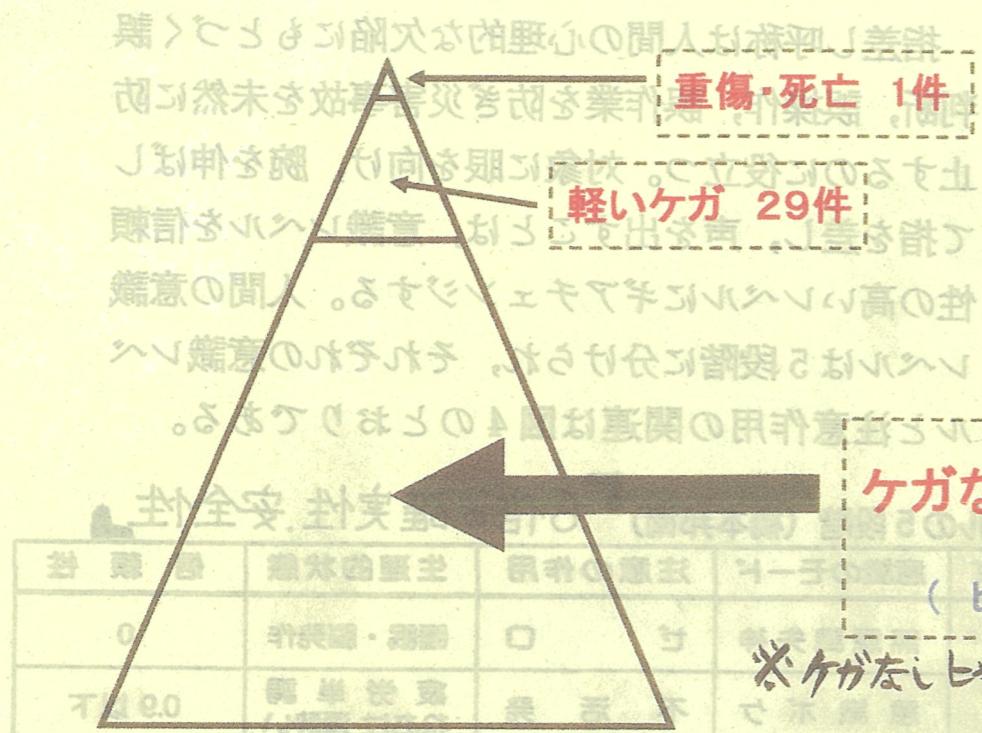
発症してからではたとえそれが助かっても重い後遺症がかかる場合もある。このため、予防に力を入れよう。脂っぽい食事を控え、



心筋梗塞も増加

ある。その結果、全体の62%が一日の最高気温と最低気温の差が8度以上ある場所でござっていた。

ヒヤリ・ハットとは？「事故の起る法則」



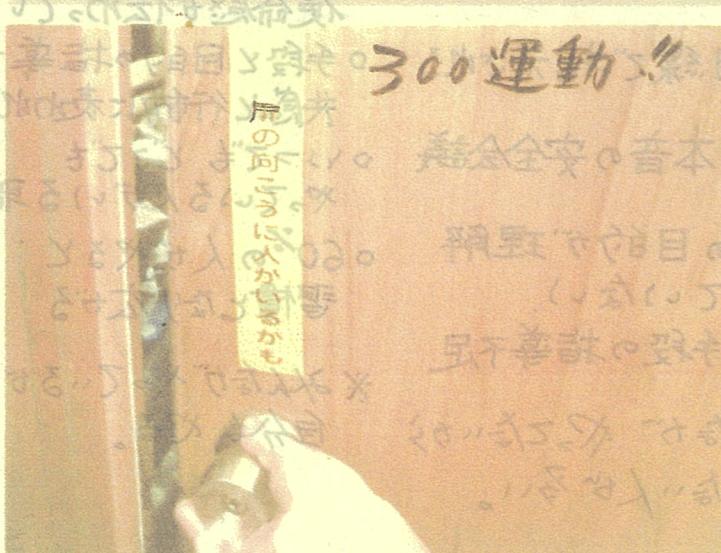
『10:29:300の法則』又は『ハイインリッヒの法則』とも呼ばれている

アメリカの損害保険会社の調査部にいたハイインリッヒ氏が発表した災害に関する法則

1:29:300の法則によれば1件の重傷・死亡事故の前には29件の軽傷事故があり、さらに前には300件のヒヤリハット(ヒヤリとしたり、ハッとする危険な状態)が存在するという。

災害をなくす為にはケガまでしなかったヒヤリハットを教え合い、その危険な原因をなくすことが大事とされ、ヒヤリハット運動などの形で安全活動を進めている会社が多い。

ヒヤリハットからの安全対策！



人は
不完全な
不注意な
動物。
訓練で安全な人間に
近づく事が可能。
ご安全に

進化

- ※ 事故を減らす安全から
- ※ 危険を減らす安全活動。

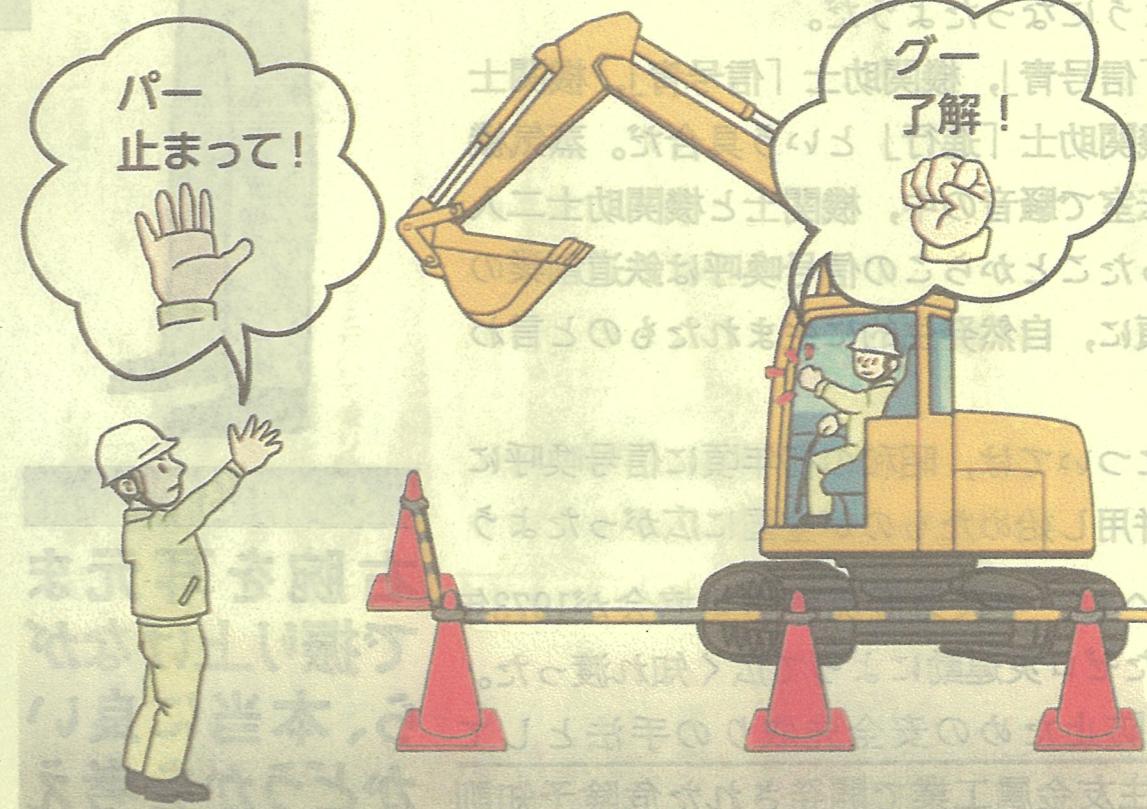
当月安全衛生管理目標

1) 重機車両災害の防止

グーパー運動（重機災害防止）

バックホウの作業半径内への立ち入りは非常に危険です。しかし時に、やむを得ず立ち入らなければならないことがあります。その時はバックホウの動きを完全に止めてから立ち入る。

グーパー運動



20年前

清水建設(株)の川原誠一郎が提案を始めた
今では全国の現場で広がり
重機と人のはざまれ重大事故が減った

3 歴史

56年前の先人の努力!!

指差し呼称がいつごろから始まったのかは定かではない。鉄道で生まれたといわれている。しかし、いつ誰によって始められたかはわからず、歴史はかなり古いと見られている。国鉄、現在のJRでは指差喚呼（しさかんこ）と呼び、古くは蒸気機関車の機関士と機関助士が信号確認をお互いに声を出して確認する「喚呼応答」で確認していたことから始まり、その後、信号の喚呼は指差して行うようになったようだ。

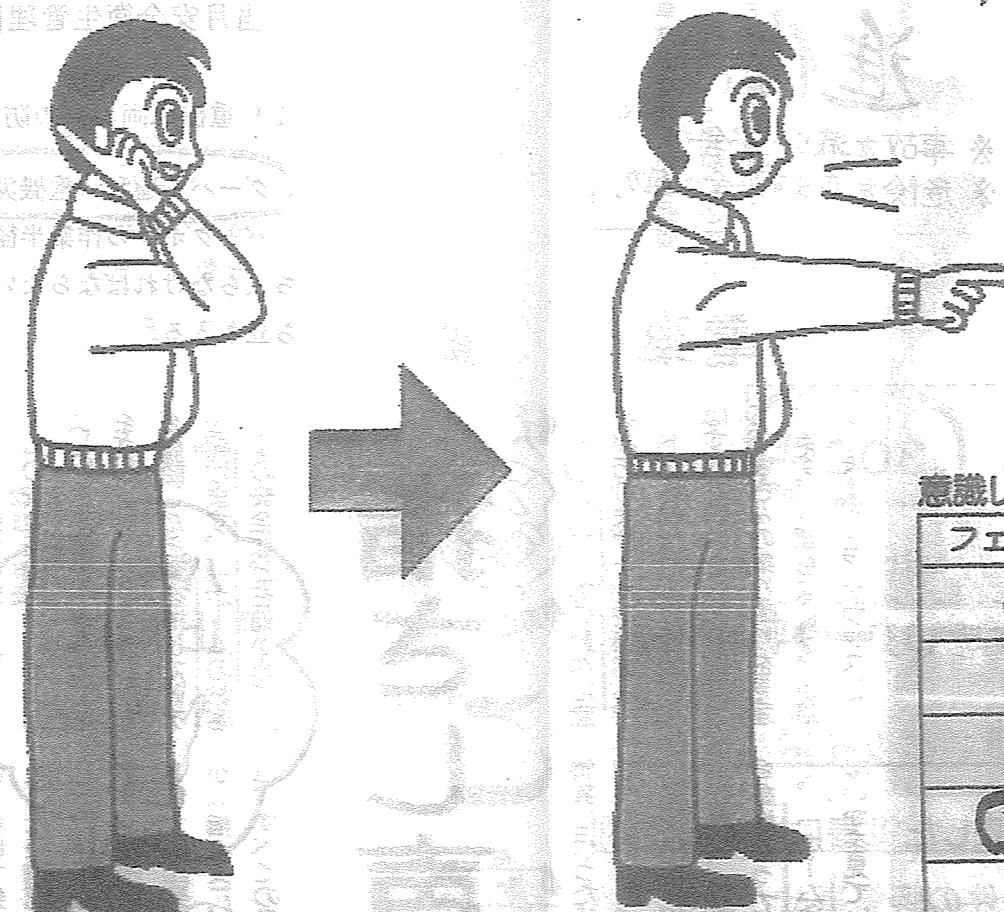
機関士「信号青」、機関助士「信号青」、機関士「進行」、機関助士「進行」という具合だ。蒸気機関車の運転室で騒音の中、機関士と機関助士二人乗務であったことからこの信号喚呼は鉄道創業のまもない頃に、自然発的に生まれたものと言われている。

指差しについては、昭和の初年頃に信号喚呼に指差しを併用し始めたものが全国に広がったよう

産業界へは、中央労働災害防止協会が1973年・提唱したゼロ災運動によって広く知れ渡った。労働災害防止ための安全先取りの手法として1974年に住友金属工業で開発された危険予知訓練（KYT）を取り入れ、1982年にはKYTに指差し呼称が組み合わされた。今では、KYTといえば指差し呼称を組み込んだ手法となっている。

ヒューマンエラー事故防止には危険を予測するKYTと、安全を確認する指差し呼称が一体となることは当然の形といえる。ヒューマンエラー事故防止に大きな成果を上げ、産業界の多くの事業場や現場で行われている。

6倍の安全性



3

右腕を耳元まで振り上げながら、本当に良いかどうかを考え確かめる

目的＝かくにん

- 正常を かくにんする。
- 安全を かくにんする。

10 指差し呼称の有効性

指差し呼称は人間の心理的な欠陥にもとづく誤判断、誤操作、誤作業を防ぎ災害事故を未然に防止するのに役立つ。対象に眼を向け、腕を伸ばして指を差し、声を出すことは、意識レベルを信頼性の高いレベルにギアチェンジする。人間の意識レベルは5段階に分けられ、それぞれの意識レベルと注意作用の関連は図4のとおりである。

意識レベルの5段階（橋本邦衛）『6倍の確実性・安全性』

| フェース | 意識のモード | 注意の作用 | 生理的状態 | 信頼性 |
|------|---------|----------|------------------|--------------|
| 0 | 無意識失神 | ゼロ | 睡眠・脳発作 | 0 |
| I | 意識ボケ | 不活発 | 疲労・単調 ねむけ・酒酔い | 0.9以下 |
| II | 正常・くつろぎ | 心の内方に向かう | 安静起居・休息 定常作業時 | 0.99~0.99999 |
| III | 正常・明快 | アクティブ前向き | 積極活動時 | 0.999999以上 |
| IV | 過緊張 | 一点に固執 | 感情興奮 パニック | 0.9以下 |

意識レベル5段階（橋本邦衛）

出来ない会社

- 上司がやっていない
- 上から目線で指示される
- 建前と本音の安全会議
- 指差しの目的が理解されていない
- 目的と手段の指導不足
- * みんながやってないからやらない人が多い。

やる人が増える会社

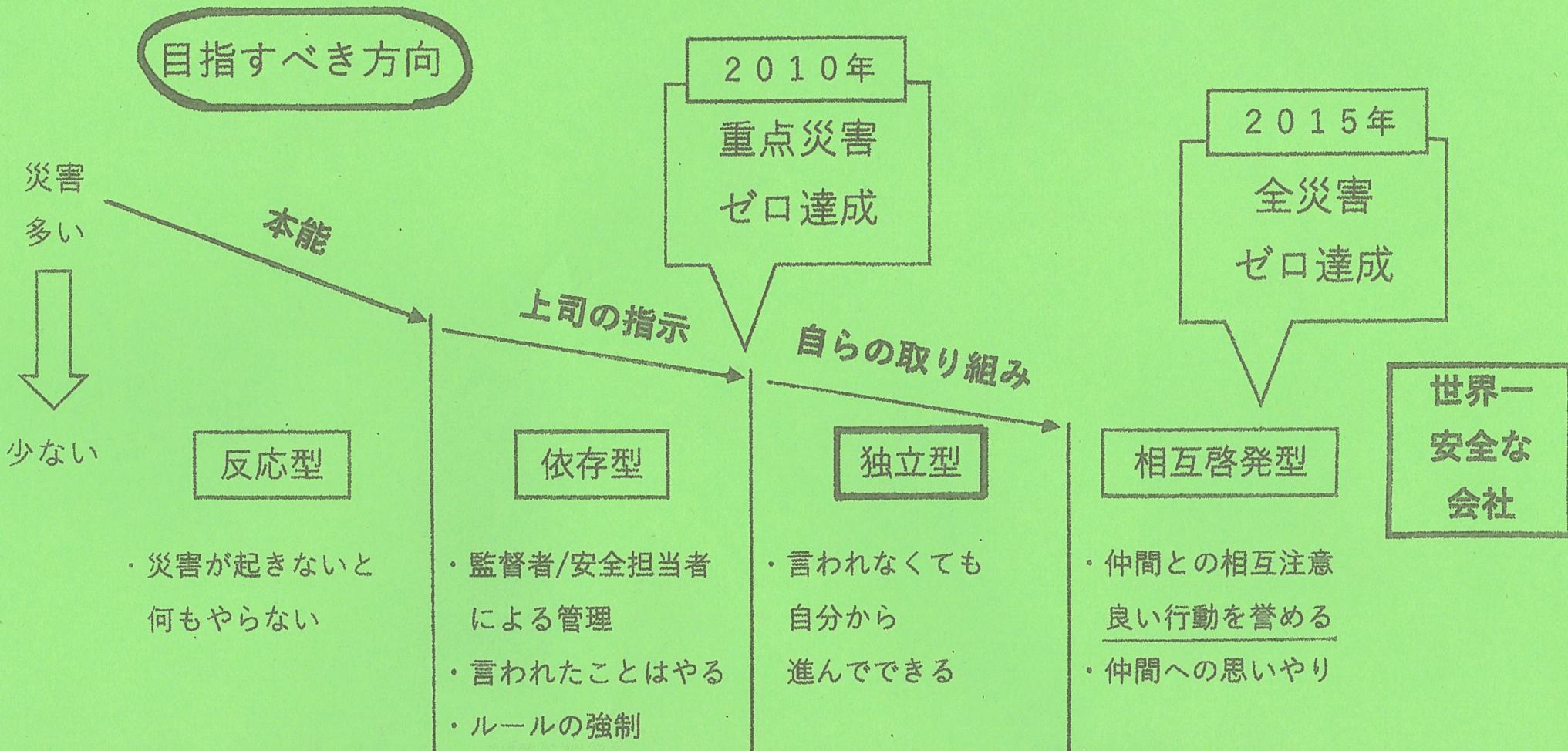
- トップ安全に対する使命感が伝わっている
- 手段と目的の指導が共感と行動に表われる
- いつもどこでもやっている人がいる職場
- 60%の人がやると習慣となり広がる
- * みんながやっているから自分もやる。

安全衛生のあるべき姿

T & D社

基本理念

安全と健康は、すべてに優先させる



健康が第一

安全が第一

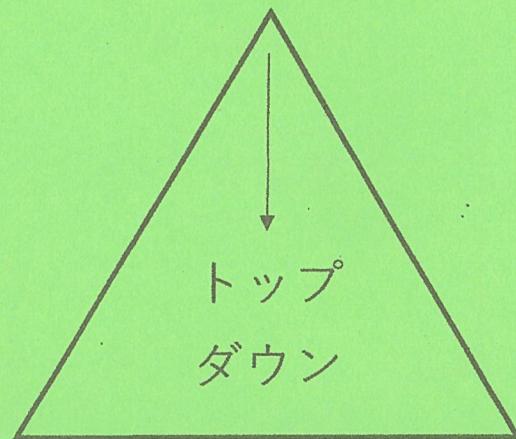
ご安全に

活動図

大企業

資本金 3億円以上

社員 300人

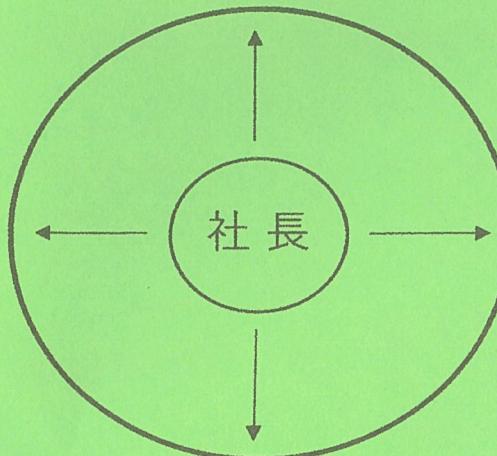


システム
予算と権限
目標と責任

中小企業

社員 1～30人以内(70%)

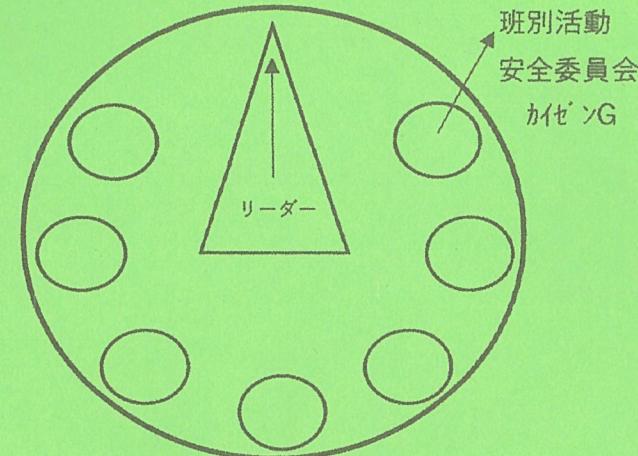
社員 300人以内



人情
チームワーク
PDCA

T社 グループ

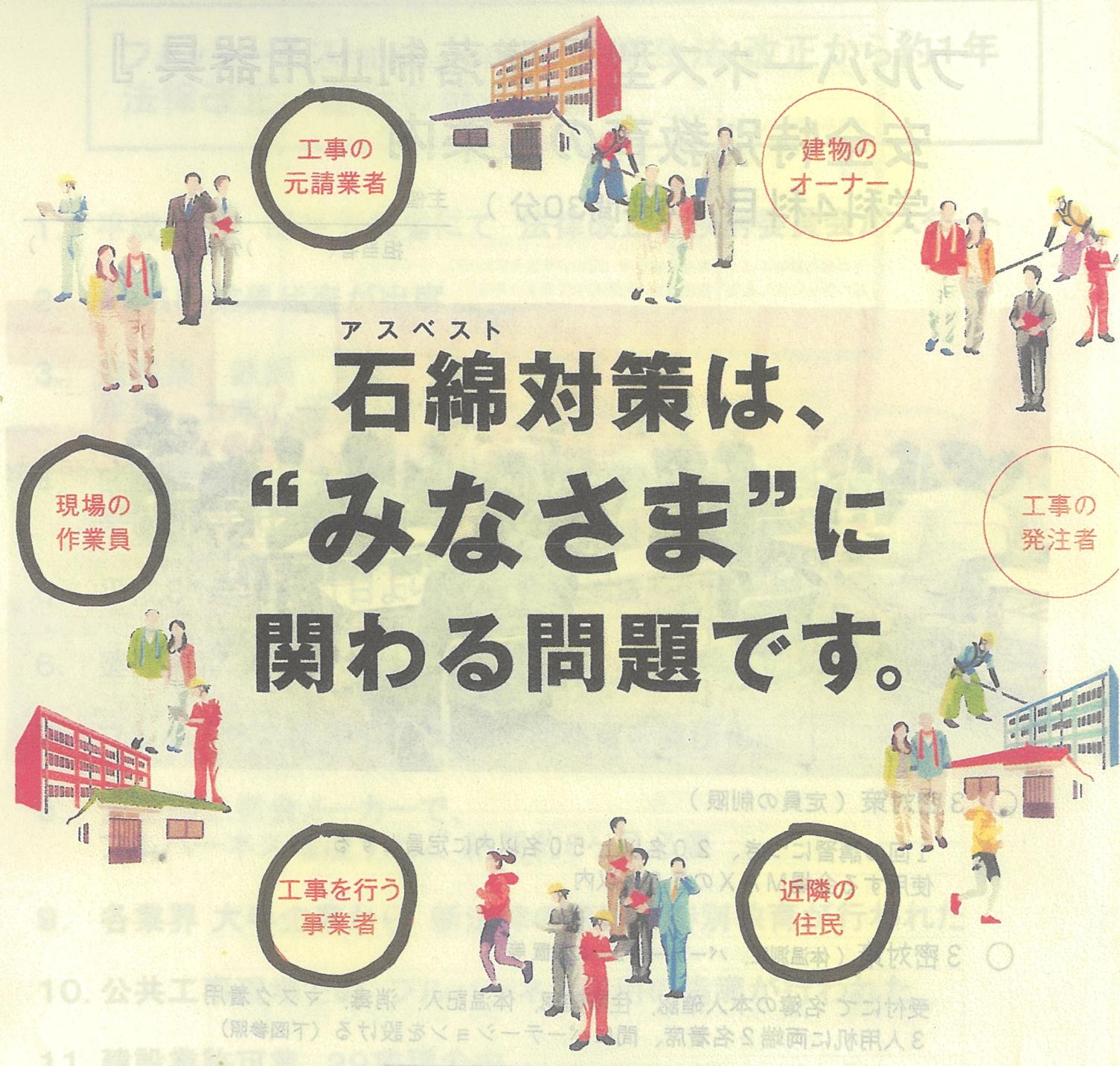
世界 NO. 1



小集団活動
かゼン力
考 勵 力



石綿による健康障害を防ぐために、みなさまにご協力をお願いします



「石綿障害予防規則」が改正され、今まで以上に石綿対策が強化されます。

「石綿障害予防規則」の改正にともない、石綿に関する規制の内容をできるだけ多くのみなさまに周知するため、新たに石綿障害予防に関するポータルサイトを開設しました。

適切な石綿対策に役立つ情報や石綿関係法令の
さまざまな情報を今後も掲載しますので、ぜひ
ご覧ください。



石綿使用建築物等解体等業務特別教育規程

(平成17年3月31日厚生労働省告示第132号)

| 科 目 | 範 囲 | 時 間 |
|-----------------------|--|-------|
| 石綿等の有害性 | 石綿の性状 石綿による疾病の病理及び症状 | 0.5時間 |
| 石綿等の使用状況 | 石綿を含有する製品の種類及び用途 事前調査の方法 | 1時間 |
| 石綿等の粉じんの発散を抑制するための措置 | 建築物又は工作物の解体等の作業の方法 湿潤化の方法 作業場所の隔離の方法 その他石綿等の粉じんの発散を抑制するための措置について必要な事項 | 1時間 |
| 保護具の使用方法 | 保護具の種類、性能、使用方法及び管理 | 0.5時間 |
| その他石綿等のばく露の防止に関し必要な事項 | 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)、労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)及び石綿障害予防規則中の関係条項 石綿等による健康障害を防止するため当該業務について必要な事項 | 1時間 |

建設物の解体・改修工事における 石綿障害の予防

理解度テスト 特別教育用テキスト

○ X 左の空欄の中に正しい場合は○を、違っている場合は×を記入してください。

| |
|---|
| 1. 石綿粉じんを吸い込んでもうがいをすればよい。 |
| 2. 休憩室は、作業場所から隔離した専用のものが望ましい。 |
| 3. 石綿吹付け材の除去作業場所の養生作業は呼吸用保護具を使用しなくてよい。 |
| 4. 石綿含有建材の解体作業では、使い捨て式防じんマスクを使用して作業してよい。 |
| 5. 通勤衣と作業衣は、一緒に保管する。 |
| 6. 充分に散水してから石綿スレート(屋根、外壁等)を除去する。 |
| 7. 石綿作業従事者でタバコを吸う人は、タバコを吸わない人とくらべて、肺がん発生の危険性が低い。 |
| 8. レベル1の作業では作業衣を着用してもよい。 |
| 9. 吹付け石綿の除去作業の養生に使ったプラスチックシート等は、一般の建築廃材と一緒にのところに捨てる。 |
| 10. 石綿の除去作業で使用した作業衣等は、そのまま家に持ち帰って洗濯してよい。 |
| 11. 一般健康診断を受けていれば、他の健康診断は受ける必要がない。 |
| 12. 防じんマスクを使用するときは必ずフィットテストをする。 |
| 13. 石綿成形板(レベル3)を撤去する場合には、撤去した後で散水すればよい。 |
| 14. 石綿の種類は1つの種類しかない。 |
| 15. 防じんマスクは、毎日使用しているので使用前点検をする必要がない。 |
| 16. 石綿等の除去作業では粉じんばく露防止、墜落、転落災害防止、感電災害防止だけに注意すれば、熱中症防止の配慮はしなくてもよい。 |
| 17. レベル3の石綿含有成形板等の除去作業には発じんの度合いに関係なく、必ず保護衣を着用して作業しなければならない。 |
| 18. レベル3の石綿含有建材等(屋根:石綿スレート)の除去作業は効率性や能率性を考え、機械による除去が望ましい。 |
| 19. 建築物を壊すときは事前に調査をしなくてもよい。 |
| 20. 石綿作業主任者がいれば作業者は石綿の特別教育を受ける必要はない。 |

半日(13:00 ~ 17:00) 研修科目(修了証カード)

労働基準協会
受講費

| | |
|-------------------------|---------|
| 1 丸ノコ取扱作業者 | ¥8,200 |
| 2 斧払機取扱作業者 | ¥11,500 |
| 3 振動工具取扱作業者 | ¥8,400 |
| 4 有機溶剤取扱作業者 | ¥10,300 |
| 5 酸欠作業従事者 | ¥10,300 |
| 6 粉じん作業従事者 | ¥9,000 |
| 7 ハーネス、墜落制止器具(学科) | ¥11,500 |
| 8 履入時安全衛生教育 | ¥9,300 |
| 9 石綿解体・取扱作業者 | ¥10,500 |
| 10 小型移動式クレーン(有資格者)(学科) | |
| 11 フォークリフト(有資格者)再教育(学科) | |



フルハーネス(墜落制止器具)安全衛生法 改正から約1年 法律改正・施行の経過と現状

- 平成26年 厚生労働省にて 法律改正の検討委員会がスタート
- 12名の業界代表が出席
- 造船業・鉄鋼・化学・機械・電力・建設・土木・安全帯メーカー・行政機関
- 厚生労働省・各県労働局・労働基準監督署より 平成30年6月 基発・ホームページにて広報
- 平成31年2月1日より 安全衛生法 改正・施行
- 建設業は高さ5m以上の作業は、フルハーネスの使用を義務化
- フルハーネス使用者の安全特別教育を義務化
- 安全帯工業会メーカーで、フルハーネス増産すれど 納期約6ヶ月必要
- 各業界 大手企業から 新法律の啓蒙・特別教育が行われた
- 公共工事現場での フルハーネス使用の指導が行われた
- 建設業許可業 29業種の内 墜落危険の高い業種への教育・指導が行われた

みんなでつくる 安心・安全・信頼職場
職場に人の和、無災害の輪 みんなでやろうほめ探し

安全協議会の設立・計画・運営の指導
社員研修・安全教育・安全大会の指導

職長教育、交通災害予防研修、KYリーダー研修
法定特別教育、リスクアセスメント実習、メンタルトレーニング

ご安全に

T-579 E-mail : t-anzen@abelia.ocn.ne.jp

(株) 実益再 (新規資本) 100% (株) 実益再 (新規資本) 100%

TEL 0567-52-3755 FAX 0567-52-3757

〒490-1402 愛知県弥富市五斗山 2-8-1

TEL 0567-52-3755

FAX 0567-52-3757

E-mail : t-anzen@abelia.ocn.ne.jp

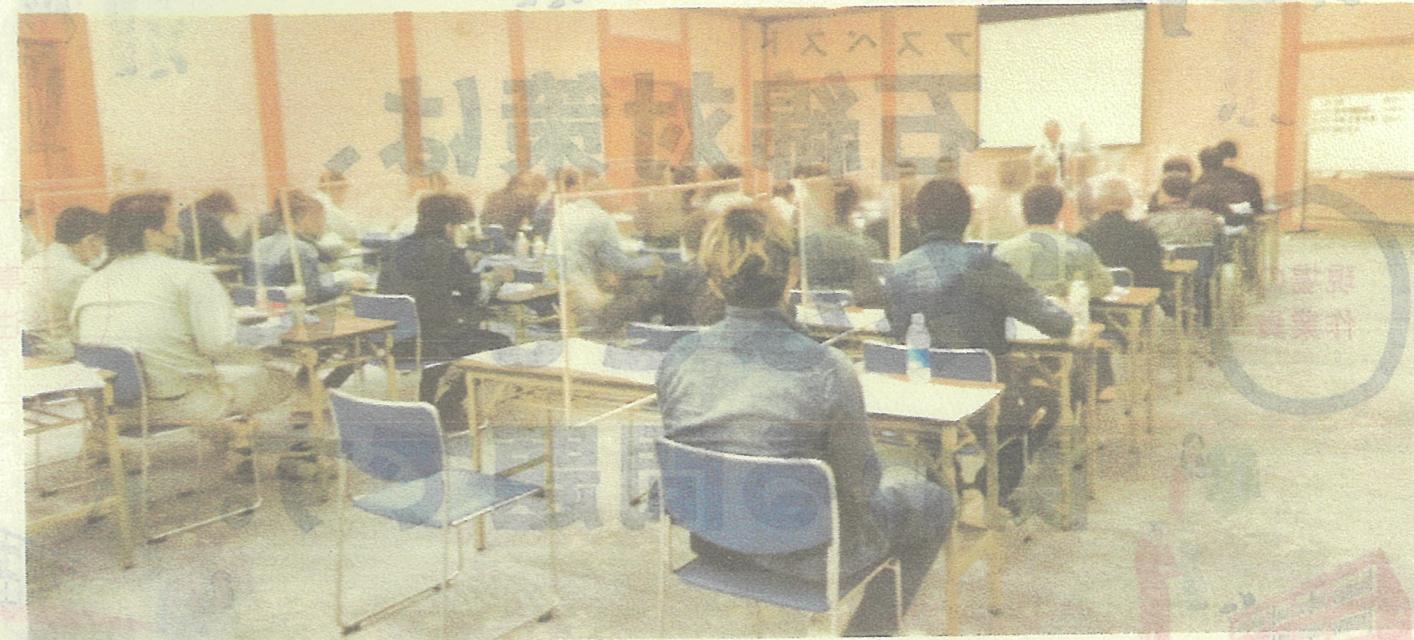
フルハーネス型『墜落制止用器具』

安全特別教育のご案内

学科4科目 (4時間30分)

主催

担当者()ケイタイ()

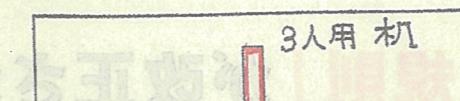


○ 3密対策（定員の制限）

1回の講習につき、20名以上50名以内に定員とする
使用する会場MAXの50%以内

○ 3密対策（体温測定、パーテーションの設置等）

受付にて名簿の本人確認、住所確認、体温記入、消毒、マスク着用
3人用机に両端2名着席、間にパーテーションを設ける（下図参照）



※パーテーションは㈱辻安全サービスセンターで用意します

○ 換気対策（45分に1回換気）

講習中4.5分に1回休憩、その都度換気を行う

○ 講師はマスクとフェイスシールドを着用する

安全協議会の設立・計画・運営の指導
社員研修・安全教育・安全大会の指導

㈱辻安全サービスセンター
代表取締役社長 辻 太朗
所長 辻 宏夫

〒490-1402 愛知県弥富市五斗山 2-8-1
TEL 0567-52-3755
FAX 0567-52-3757

E-mail : t-anzen@abelia.ocn.ne.jp

安心・安全・信頼職場 カイゼンのしくみ

戦 略

稟議書・会議

- ・人財投資計画
- ・設備保全計画
- ・組織・予算化計画

戦 術

安全衛生委員会

- ・目標・計画・作成
- ・月次・半年・年間・目標
- ・P.D.C.Aサイクル表

戦 闘

個人の意識向上

- ・雇入時・1年間教育
- ・入社3年 安責者教育
- ・指導者育成教育

安全第一は 祈りの文化

会社は利益第一

- ・利益は社会貢献
- ・事業は共存・競争
- ・社員は資本・投資

プラス思考

チーム思考

※ チームプレー尊重

・問題意識

・課題意識

・危険意識

※ 一步前・行動

- ・やれる事を考える
- ・やれる事からやる
- ・やってみて考える
- ・P.D.C.Aサイクル

デカルト思考

※ 現状を疑う

方法・原因分析

(ルネ・デカルト 1596年)

※ 方法論・手段

※ 現状分析

ブレイクスルー思考

※ あるべき姿を具体的に

明確に計画的に描く

(中京大学・日比野省三師)

※ 理念(目的)と手段

※ 目的適思考7原則

トヨタ語録

3現主義

現場・現物・現実を見る

ホンダ宗一郎

やってもないのになぜできないと分かる

■みんなでつくる安心・安全・信頼職場

経営トップのパトロール。

安全巡視・カイゼン記録

年月日時～時

巡視場所

巡視者（所長）

（労務部長）

（　　）

（安全顧問）（株）辻安全サービスセンター

所長 辻 宏夫

安全巡視項目（重点ポイント）人・設備・現場状況

Ⓐ 人の動き

・
・
・

Ⓑ 設備の点検・保守（法定点検、自主点検、作業者点検）

車両・

フォークリフト・

道具、工具・

クレーン・

・
・

Ⓒ 作業現場の安心・安全環境

・
・
・

※ 作業者・作業現場の良い所（承認）

・
・
・

① 危険予知（災害予防＝KY、ヒヤリ情報の共有＝危険の感受性）

・
・
・

② リスクアセスメント（危険源を減らす＝RA、危険性の調査、カイゼン計画、P.D.C.A.）

・
・
・

※ 巡視者のメッセージ・対策

<　　>・
<　　>・
<　　>・
<　　>・

議事録は関係者に全員配布 3年間保存

（労働安全衛生法17.18条）

（株）辻安全サービスセンター

社長

管理責任者

現場責任者

人の行動 カイゼン

今よりやりやすく

- 論理化
- 簡単化
- 標準化
- 良好化
- 量化

やれる事を考える

カイゼン

道具・設備 カイゼン

今より安全に

- 安全装置の設置
- 安全装置の点検
- 安全装置の保守
- 安全装置の定期検査

やれる事からやる

※ リーダーシップが原動力！
※みんなでやると良くなる！

作業現場 カイゼン

今より効率よく

- 品質の向上
- 生産性の向上
- 成本削減
- 周期短縮

やってみて考える

不安全行動

善意の過失

不注意の脳力

錯覚、勘ちがい
忘れる脳力

教育不足

知らない
できない
やらない

悪意の過失

反則行為

手抜き
気抜き

見てない、聞いてない。
思い込み、勘ちがい、自己流。
うっかり、ぼんやり、忘れた。

意知技態
識識術度
育育育育
教教教教
一票 精算者
市長 国東 去代
平成22年1月1日
期初 年始
※
※
※
※

手順の省略、法律無視。

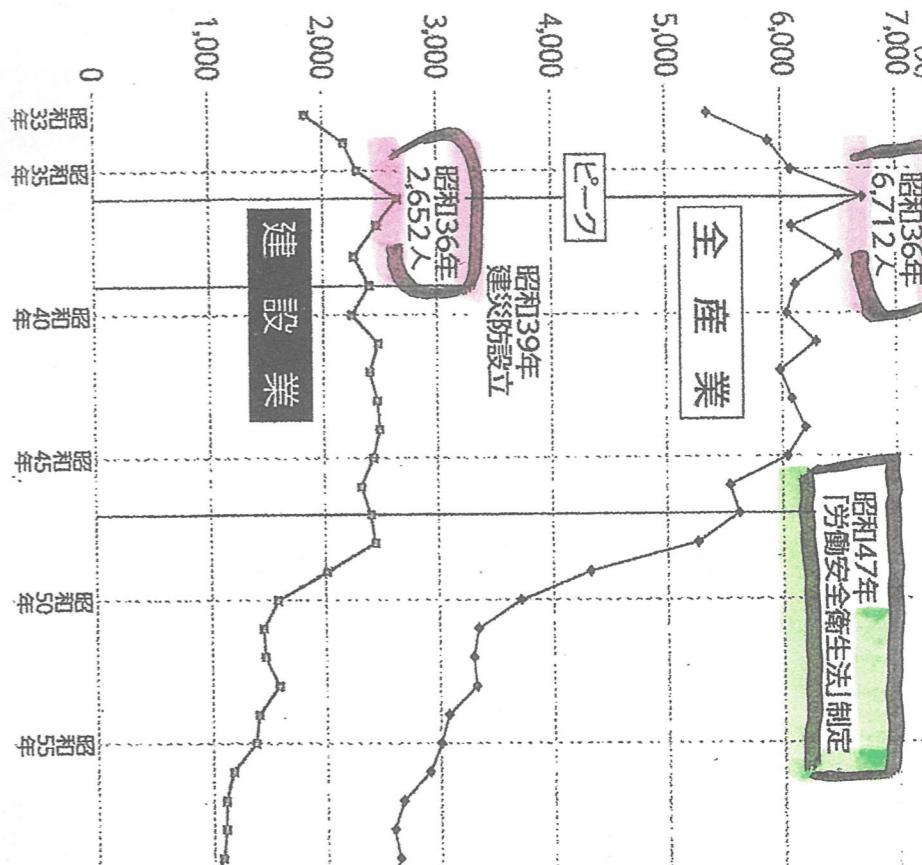
約束違反、ルールの手抜き

めんどうだから、多分大丈夫だろう
みんなやっているから。

四

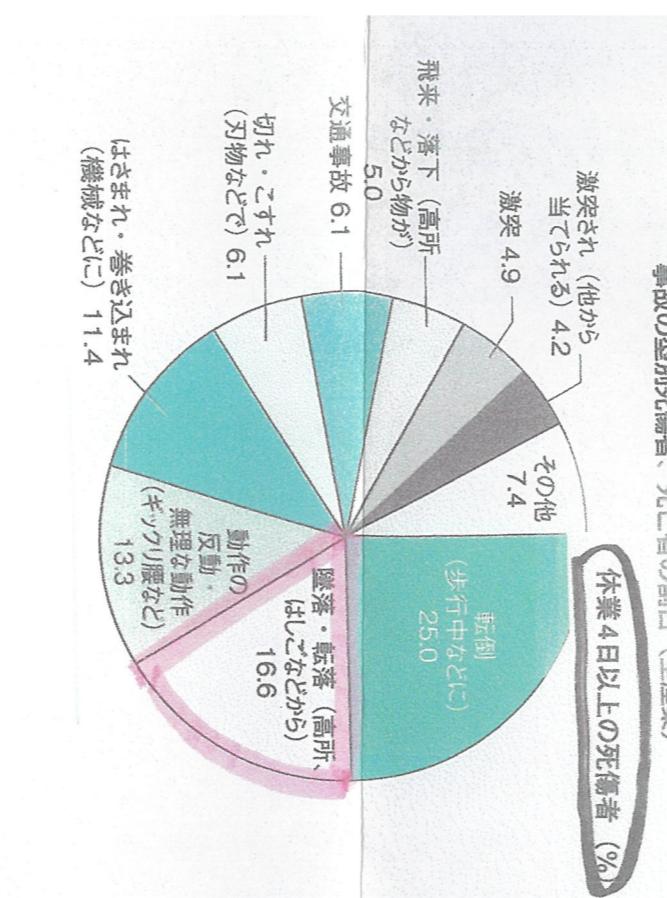
労働災害(死亡災害)発生件数の推移(昭和33年～令和元年／確定値)

建設業労働災害防止筋会

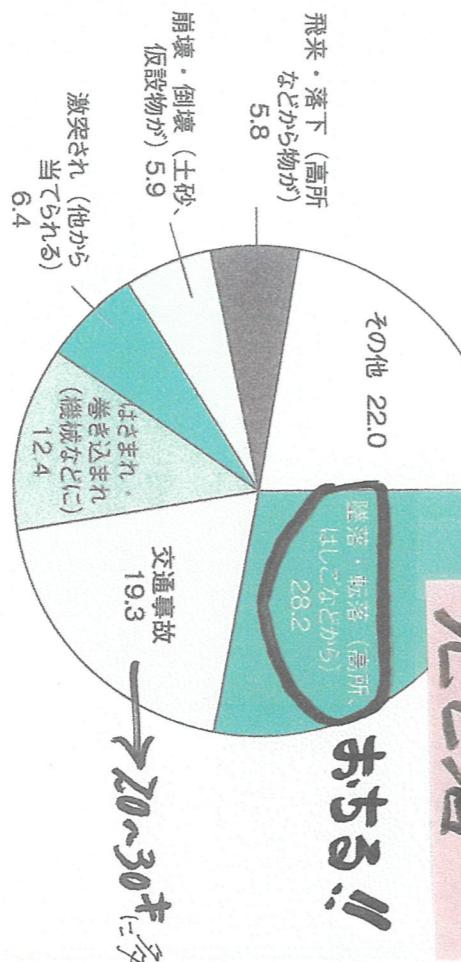


※平成23年は、萬日本大震災を直接の原因とする死亡災害を除く。

災害はなぜ発生するか



死亡者

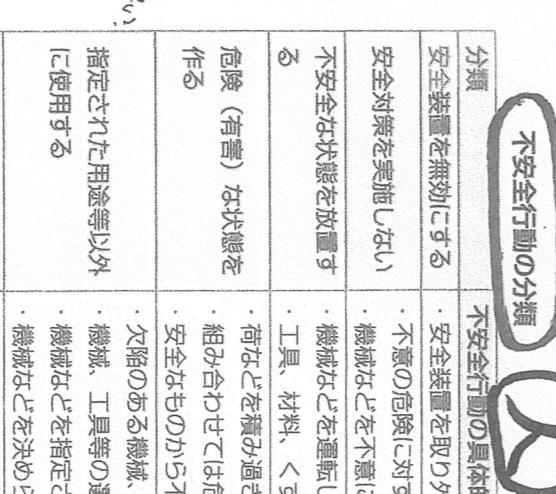


(4) 職場の災害の特徴

労働災害を分析すると、機械の大型化、高速化、新技術・新材料の採用などによる新しいタイプの災害も出てきていますが、従来と同じタイプの災害の割合が依然として大きいので、その内容を知っておくことは対策の重点（順位）を定めるうえ

① 製造業、建設業で多い労働災害

労働災害による死傷者数を業種別にみると、年によって若干異なりますが、製造業、建設業、陸上貨物運送業の3業種で全体の50%近くを占めています。また、死亡者数でも、この3



卷六

| 分類 | |
|----------|---|
| | 不安全状態の具体的な例 |
| 物の欠陥 | <ul style="list-style-type: none"> ・機械などの設計が悪い ・物が老朽化している ・故障を修理していない ・危険部分を防護（力バーなど）していない ・電気機器の接地（アース）をしていない ・危険有害区域の区画、表示（立入禁止など）をしていない など |
| 防護の欠陥 | <ul style="list-style-type: none"> ・通路が確保されていない ・機械などの配管が悪い ・服装、履物を指定していない ・保護具を指定していない など |
| 作業場所の欠陥 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業場所が狭い ・物の積み過ぎ、立てかけ など ・手袋の使用を禁止していない |
| 保護具などの欠陥 | <ul style="list-style-type: none"> ・換気が悪い ・作業に不適当な機械を使用している ・作業手順を誤っている ・安全（危険・有害性なし）を事前に確認していない など ・欠陥を特定できないもの |
| その他 | |

序文

弘心書



まことに
安全が第一

安全が第一

健康が第一